

## 中国における星新一小説の受容

丁 茹

**The reception of Hoshi Shinichi's fiction in China****DING, Ru****Abstract**

This paper compares the Chinese translations of Hoshi Shinichi's fiction published between 1980 and 2014 with the publishing condition of the Japanese versions and discusses how the Chinese versions were received in China from three standpoints.

First of all, by investigating the change or distribution type of the conditions of Hoshi Shinichi's fiction over different years, which means the given examples of the Chinese translation collection, magazines and fiction in other publications, we can deduce how his fiction was received in China. Next, we put forward two features of the Chinese translations, namely, the translating boom period and the sudden change in the genre of works translated. Here we see the translation and publication of Hoshi's works undergo boom and stagnation periods, and the works are categorized as either science fiction or short-short stories.

Investigating the reasons behind these two features, we can put light on the characteristics of Chinese translations and their publication. In addition, the fact that Hoshi's fiction is taken up in Chinese school textbooks suggests the uniqueness of how it has been received in China. That is to say, Hoshi's fiction is highly regarded in Chinese educational circles and his audience is becoming younger. By comparing the adoption of Hoshi's fiction in both Chinese and Japanese school textbooks, we were able to analyze the reasons why the works were adopted and thus discuss the characteristics of his Chinese readers.

To a conclusion, based on the materials which collected during 30 years from now on and produced by the Chinese translation and reception condition of Hoshi Shinichi's fiction in China, this article is to interpret the 3 characters: the boom of the translating, the change of the works' genera and the younger-age trend of the reception readers.

**Keywords** : Hoshi Shinichi, fiction reception, Chinese translations, textbook content

**要旨**

本論文は1980年から2014年までに中国で出版された中国語訳の星新一小説の状況と、日本における星新一小説の出版状況とを比較し、星新一小説の中国における受容の特徴を三つの面に分けて論ずるものである。

第一に、中国語訳の作品集、雑誌及びその他の出版物に収録された星新一小説の翻訳点数と出版点数を挙げ、星新一小説出版の年代による変化や類型分布などの状況の分析を行い、それを通して中国における星新一小説の出版現状を明らかにする。第二に、星新一小説の中国における翻訳時期の集中及び翻訳された作品のジャンル区分の突然の変化という二つの特徴を取りあげる。すなわち、

中国における星新一小説の翻訳及び出版には明らかにブームと停滞期があり、彼の作品を「SF」に分類するか「ショートショート」に分類するかという区分の変化も中国における独特の現象である。この二つの特徴の原因を分析し、星新一小説の中国語訳出版の特徴を論ずる。第三に、星新一の小説は中国で教科書に収録されたことに見られるように、中国における星新一小説の受容対象には顕著な特徴がある。すなわち、教育界からの高い評価を受けたことで、星新一小説の受容対象もより若くなる傾向があるのである。中日両国における星新一作品の教育用図書における採用状況を比較し、その原因を分析し、中国における星新一小説受容対象の特徴を論ずる。

以上、本論文は、現在までの30年間に、中国における星新一小説の中国語訳及びその受容状況には、中国社会固有の特徴、すなわち、翻訳時期の集中、作品ジャンル区分の変化、および受容対象の低年齢化という三つの顕著な特徴が存在したことについて論述したものである。

キーワード：星新一、受容、翻訳、中国語、教科書

## 1. はじめに

「ショートショート」は、小説の一ジャンルとして中国で1980年代以降正式に認められた<sup>1</sup>とされている。一方、ショートショート作家としての星新一の作品も1980年代ごろから中国に紹介翻訳され始め、今日までに数多くの作品が翻訳され読まれている。星新一の小説だけを集めた翻訳本が出版されたばかりでなく、世界中の作家の小説を収録した小説集<sup>2</sup>にもよく星新一の小説は採用されている。また、雑誌や新聞などの出版物にも星新一の紹介文、小説の翻訳、作家及び作品についての論文が掲載された。こうして、星新一はこれら一連の中国語訳によって、日本のSFショートショート作家として中国でよく知られるようになった。また、中国における星新一小説の受容は彼の小説が中国語に翻訳された最初の段階からいくつかの特徴を有しており、更に30年に及ぶ受容の過程の中で新たな特徴も生じた。

本論文は以下、星新一小説の中国語への翻訳及び出版に関する状況を説明し、これまでに収集した資料<sup>3</sup>に基づいて星新一小説の中国における受容の特徴を論述する。

## 2. 中国における星新一小説の出版現状

中国における星新一関連の出版物は三種類に分類できる。星新一の作品によって構成された星新一作品集、星新一の作品を掲載する雑誌、星新一の作品と他の作家の作品とを同時に収録する出版物（一般に図書）である。以下、これら三種類の星新一小説の出版状況について紹介しよう。

1 许世杰编著『微型小说丰收的两个标志』，《中国小说年鉴 1984・微型小说卷》中国新闻出版社1985 P3：「『1984年小说年鉴』中，居然把它列为独立的文学体裁，与中，短篇小说势成鼎足，自成一卷，这足以表明，近几年异军突起的微型小说已愈趋成熟，得到了文学界的重视和公众的承认，赢得了自己的文学地位。」

2 異なる作家の作品を収録している小説集。

3 本論考で参照した資料はすべて2014年7月末以前のもので、資料の収集は基本的に「中国知識基礎設施工程(CNKI)」、「読秀知識庫」、「中国国家数字図書館」に基づいている。

## 2.1 中国語訳作品集

筆者の調査では、中国で最初に出版された星新一小説の翻訳集は、1980年に台湾の何淑慧によって翻訳された『科幻小小説』である。この小説集は星新一のショートショート40篇を収録し、最初に「おーい、でてこーい」が配されている。また、この小説集は同年、香港の科幻出版社からも何淑慧訳『科幻小小説』として出版された。

中国大陸における最初の星新一作品の翻訳集は、1982年に江蘇科学技術出版社から出版された『保您满意』である。この小説集は星新一のショートショート92篇を収録しており、第一版における発行数は28000冊である。本書には「おーい、でてこーい」も収録されている。これ以降、1980年代には中国大陸で次々と星新一のショートショート翻訳集が出版された。更に、中国大陸だけでなく、台湾と香港でも星新一の小説は紹介翻訳され、小説集の形で出版された。筆者の調査によれば、1980年から2014年までに中国で出版された星新一小説は35冊になる。そのうち訳林出版社の『星新一短篇小説集』は翻訳集ではなく、日本語に中国語の注釈を付けた出版物である。また、鴻儒堂出版社の『盜賊会社』、『有人叩門』、三民書局の『異想天開1』および笛藤出版図書会社の『馬戲團之旅』と『平安夜插曲』は中国語日本語対訳本である。以上の対訳や日本語出版物を除くと、星新一の中国語訳本は全部で29冊となり、大陸での出版はそのうち20冊を占めている。すなわち、星新一の中国語訳の小説集は主に大陸の翻訳本となる。本論文においては、台湾及び香港については参考として触れるのみで、主に大陸の翻訳状況をめぐって論述する。表1は中国大陸で出版された星新一小説集を整理したものである。

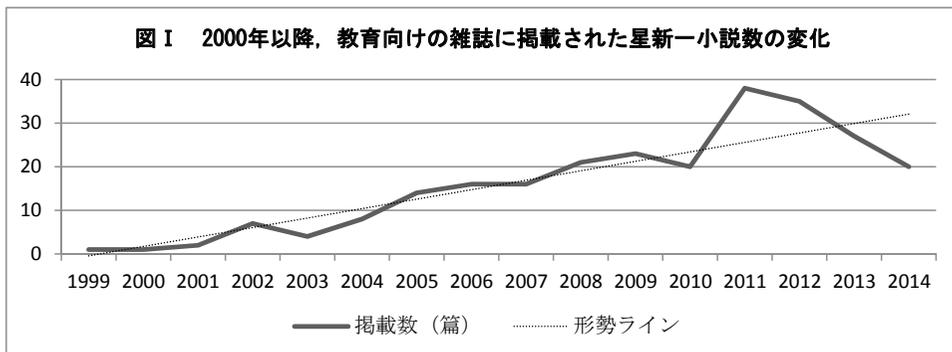
表1 1980年から2014年まで中国大陸で出版された星新一小説の中国語訳本

番号	書名	編集者/訳者	出版社	出版時間	版数	印刷部数
01	保您满意	孟庆枢・潘立本	南京：江苏科学技术出版社	1982	1	28000
02	一分钟小说选	陈真	沈阳：春风文艺出版社	1983	1	80000
03	星新一微型小说选	李有宽	长沙：湖南人民出版社	1984	1	29601
04	星新一微型小说选	李有宽	长沙：湖南人民出版社	不明	2	36900
05	一分钟小说选（续集）	李有宽	沈阳：春风文艺出版社	1985	1	105000
06	不速之客	李有宽	长沙：湖南人民出版社	1985	1	30000
07	波子小姐：短篇小说集	黄元焕	太原：北岳文艺出版社	1985	1	14300
08	星新一微型小说选	陈剑彤	北京：北京航空学院出版社	1986	1	7500
09	职业刺客	卞崇道・申英民	天津：百花文艺出版社	1986	1	17800
10	一段浪漫史	李有宽	武汉：长江文艺出版社	1986	1	12700
11	职业刺客	卞崇道・申英民	天津：百花文艺出版社	1987	2	不明
12	强盗的苦恼	周萌	兰州：敦煌文艺出版社	1991	1	4651
13	强盗的苦恼	周萌	兰州：敦煌文艺出版社	1992	2	9650
14	诱骗	李有宽	合肥：安徽少年儿童出版社	1992	1	10000
15	魔幻星	孙建和・庄志霞	北京：中国国际广播出版社	1993	1	6500
16	可亲的恶魔	郭富光・于雷	沈阳：春风文艺出版社	1999	1	5000
17	肩膀上的秘书	郭富光・于雷	沈阳：春风文艺出版社	1999	1	5000
18	可亲的恶魔	郭军和	北京：印刷工业出版社	2001	1	500
19	中外科幻小说集 和善的恶魔	文彬	通辽：内蒙古少年儿童出版社	2002	1	20000
20	世界文学名著宝库 和善的恶魔	文彬	通辽：内蒙古少年儿童出版社	2004	2	不明

星新一小説の大陸における翻訳活動は主に1980年代と1990年代に集中している。また、日本の星新一ショートショート集とは異なり、中国語に翻訳され、中国で出版される場合、星新一の日本語小説集がそのまま翻訳されるのではなく、各作品集からショートショートが抽出され、新たに小説集が編集され出版された。1982年に中国で翻訳集が初めて出版されてから2004年までに、30冊の星新一小説集が日本で出版されたが、現在までの調査ではこの30冊の短篇集<sup>4</sup>の中から437篇<sup>5</sup>のショートショートが選ばれ中国で翻訳出版された。日本における星新一小説集の出版時期は、1961年から1987年にわたっており、星新一の主要な創作時期がその中に含まれる<sup>6</sup>。

## 2.2 雑誌に掲載された星新一の作品

筆者の調査した資料によれば、最も早く翻訳され、雑誌に掲載された星新一の作品は1980年、金満生によって翻訳され、『外国文学』に掲載された「来訪者」(中国語訳名も「来訪者」)である。以降、2014年まで、ときおり掲載数や作品の題材に変化はあるが、基本的に毎年星新一の作品は雑誌に掲載された。資料によれば、1980年から2014年まで総計749篇の星新一作品及び関連する文章が様々な種類の雑誌に掲載された。そのうち星新一作品の翻訳は628篇<sup>7</sup>、星新一及び作品についての研究は23篇、星新一に言及するものは15篇ある<sup>8</sup>。中でも、星新一作品を掲載した教育向けの雑誌は122種類もあり、254篇の作品が掲載された。特に、次の図Iに示しているように教育向けの雑誌<sup>9</sup>に掲載された星新一作品数は2000年以降次第に多くなってきている。



また、教育向けの雑誌以外に、一般的な大衆雑誌、SF、少年児童向け、童話、文学理論、外国語などのような雑誌にも星新一の作品及び関連する研究論文は掲載されている。

4 星新一公式サイト (www.hoshishinichi.com) では、星新一のショートショート小説集は「短篇集」と定義されている。

5 重複する作品を除いた。

6 星新一公式サイトの小説の初出リスト (編: 高井信/協力: 山本孝一&和田信裕) によれば、日本で星新一作品が雑誌に掲載された時期は「セキストラ」が掲載された1957年から「担当員」が掲載された1993年までである。

7 重複する作品を含む。

8 星新一及び作品についての研究及び星新一に言及するものの篇数は、重複するものを除いてある。

9 主に小学校、中学校教育にかかわる雑誌を指す。

### 2.3 その他の出版物に収録された星新一の作品

上述のように、星新一の小説は小説集の形で翻訳され出版されただけでなく、複数の著者の作品を集めた小説選集にもよく採用されている。筆者の調査によれば、1981年1月出版された『课外阅读 6』が星新一の作品を収録した初めての選集で、そこには「无微不至」（「ゆきとどいた生活」）が収められている。これ以降、2014年2月までに出版された、星新一作品集及び雑誌を除く図書において、星新一の作品及び関連する文章は639篇ある。そのうち、616篇は星新一のショートショートで、25篇は星新一及び彼の作品についての紹介や研究である。

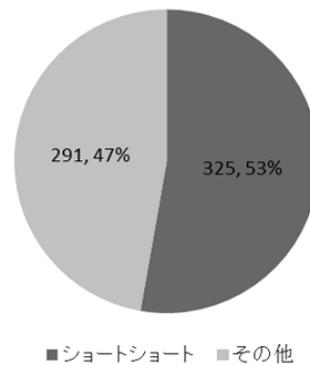
まず、星新一小説集と雑誌を除いたその他の出版物に収録された星新一の小説（収録された小説は全部ショートショートと言える）から見ていく。時期は1981年から最近の2014年までである。重複する小説を含み、全部で616篇の小説が283冊の図書に収録されている。分類が明確な作品は225篇がある。「科学幻想」にかかわる図書に収録されたものは25篇あり、ユーモアショートショートとして収録された作品は30篇ある。また、教育向けの教材や教育補助用の図書（教科書を含む）に収録された作品は107篇あり、時期は1981年から2012年までである。その他、諷刺類と分類された作品が18篇、寓話類は7篇、童話類は21篇、哲理類は15篇、法律類は2篇である<sup>10</sup>。

また、明確に「ショートショート小説集」と明示する図書は93冊あり、325篇の星新一ショートショートが収録されている。これらは収録された小説全体の約53%を占めている（図Ⅱ参照）。すなわち、日本の読者にとって「星新一」はSF作家である<sup>11</sup>が、中国の編集者と読者にとっては、星新一は「SF作家」というより「ショートショート作家」という印象がより強いのである<sup>12</sup>。この現象については後に論述する。

この他、星新一を研究する論文が雑誌以外の図書にも収録されている。収集した資料によれば、25篇の星新一に関連する研究論文が、主にSF小説、ショートショート、教育の三分野の図書に掲載されている。

以上、星新一作品の中国における出版状況について論述した。そこに反映する特徴については、以下それぞれ論述する。

図Ⅱ その他の出版物に星新一作品の類型分布



10 分類基準は『中国国家图书馆分类法（第四版）』に基づいて作られた現行の「中国国家図書分類法分類番号」（略称は「中図法分類号」）である。筆者はこの分類基準のもとで収集された資料を整理し、分類した。

11 権田萬治著「恐怖の原形質——星新一論」新評社『星新一の世界』1980 P73-P74「（星新一は）SF作家ということになっているらしいが」及び「確かにSF作家星新一だけに注目して推理作家星新一の存在を見失う」。

12 中国における多くの星新一を紹介する文章においては、星新一は「ショートショート作家」として紹介される傾向がある。

### 3. 中国における星新一小説出版の特徴

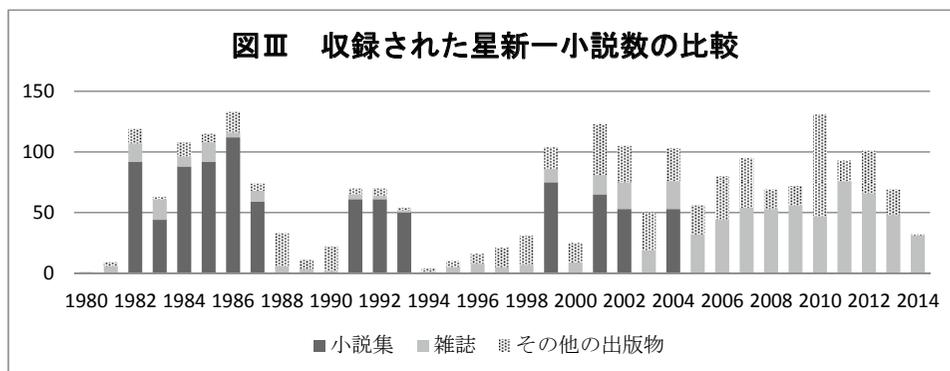
上述のように、星新一小説は中国で翻訳出版された当初から、いくつかの特徴が存在していた。初期の中国語訳星新一小説の出版活動に注目すると、翻訳時期の集中及び作品分類の変化という二つの特徴が見られる。すなわち、星新一小説の翻訳活動は主に1980年代に集中した点、星新一作品に対するジャンル区分が時代の影響を受けて突然に変化しているという点である。

以下、これまで収集した資料に基づいて、星新一小説の中国語訳本を分析し、その特徴について論述する。

#### 3.1 翻訳時期の集中

上述のように、中国では、1980年代から日本のSF作家星新一の小説が翻訳され、中国の読者に紹介されてきた。1980年12月、雑誌『外国文学』に掲載された「来訪者」（金満生訳「来訪者」）が中国大陸に記録があるのは初めての星新一小説の翻訳である。以降、次々と星新一ショートショートは翻訳され、雑誌や図書に掲載された。1982年9月には、江蘇科学技術出版社から大陸で初めての星新一小説集『保您满意』が出版された。この小説集には92篇のショートショートが収録されている。これ以降、中国の出版社は次々と星新一の中国語訳小説集を出版し、雑誌やその他の図書にも中国語に翻訳された星新一の小説が掲載された。

1980年から2014年まで、中国大陸で出版された星新一小説集は19冊（小説約900篇）あり、雑誌に収録された星新一小説は660篇あり、その他の出版物に収録された星新一小説は622篇（各教科書と副読本に収録された篇数も含む）ある。時期によって区分すると、おおむね80年代、90年代及び2000年以降の三つの時期に区分される<sup>13</sup>。



この収録篇数には重複する篇数も含めている。表1によって、小説集の形で出版された星新一小説のブームは20世紀80年代にあったと判断される。これと比べると図書や雑誌に掲載された星新一小説のブームは2000年以降に表れている。しかしながら、掲載された作品数には重複する作品も多く含まれている。すなわち、ブームの中で出版された作品の多くは新たに翻訳さ

13 図Ⅲから分かるように、出版数から見ると星新一小説には明らかに三つのブームがある。ひとつ目は1980年代中ばにあり、二つ目は1991年-1993年、三つ目は1999年以降に始まる。三つのブームを基準にすると、中国における星新一小説の受容は、おおむね80年代、90年代及び2000年以降の三つの時期に区分される。

れた星新一の小説ではなく、以前すでに翻訳された作品の再掲載ということになる。現在までの調査では、80年代に翻訳された星新一の作品は409篇あり、90年代に新たに149篇の作品が翻訳された。したがって、計558篇の翻訳された作品の中で、半分以上の作品が80年代に既に翻訳された作品である。2000年以降に掲載された作品も全て以前に翻訳された作品で、あらたな翻訳はほとんどない。すなわち、千篇を超える星新一の小説の中で、中国語に翻訳された作品は約半分である。が、主な翻訳活動は80年代に集中し、90年代にも続いた。2000年以降、星新一の作品を掲載する雑誌や図書などの数は増加したが、未翻訳の作品を翻訳する活動はかえって低調になった。

### 3.2 作品のジャンル区分の突然の変化

星新一の中国語訳小説集のジャンル区分及び雑誌やその他の出版物を出版する出版社について整理すると、ひとつの注目すべきの特徴が見られる。すなわち、日本では一般的に星新一がSF作家として認識されていたのとは異なり、中国での「星新一」に対する位置づけはある時点で大きく変化したという点である。

前述の表によれば、1982年、「科幻短篇小説選」として『保您满意』が出版されてまもなく、翌年の1983年から、星新一の小説集は「一分鐘小説選」や「微型小説選」として出版されるようになった。つまり、1983年ごろから星新一小説紹介の重点は「ショートショート」に移ったと言える。この現象は小説集の出版に見られるだけでなく、図書と雑誌にも反映している。1981年、1982年ごろ星新一小説を収録する図書はほとんど『科幻海洋』、『科学文艺訳叢』のような出版物であり、雑誌も星新一の作品を掲載する場合、明確に「SF」のキーワードを明示した。しかし、1983年から、図書、雑誌ともに「SF」というキーワードを使用せず、ショートショートの面を強調するようになった。データから見ると、この状況は80年代後半まで続くが、90年代に入り、再び変化する。

この時期的な問題および星新一の小説についてのジャンル区分が変化をきたした原因について、以下いくつかの面に分けて述べる。

### 3.3 原因についての分析

#### (1) SF作家としての紹介

文化大革命の終焉を受けて、中国のSF小説は1976年から再び復興し始めた<sup>14</sup>。20世紀80年代はじめは中国のSF出版ブームの時期だと言われている<sup>15</sup>。このブームの中で、多くのSF雑誌や小説などが出版された。特に全国各地の科技出版社と科学普及出版社がこのブームの先導者であった。この時期の中国SF作家たちは自らSFの創作を行うだけでなく、「科幻文艺を応援し、外国の優れたSF作品を数多く翻訳した」<sup>16</sup>。

中でも、日本については、星新一の作品が特に好まれた。こうして、1982年、『保您满意』

14 吴岩著『科幻文学论纲』重庆出版社 2011.04 P18「粉碎‘四人帮’的1976年，中国科幻小说开始复兴」。

15 林久之、武田雅哉著『中国科学幻想文学館（下）』大修館書店 2001 P72「七九年から八一年にかけて科幻小说雑誌の出版ブームが起こった」。

16 孟慶枢著「星新一的短篇科幻小说（代译序）」『保您满意』江苏科学技术出版社 1982 P3

が江蘇科学技術出版社から出版された。小説集のサブタイトルは『星新一短篇科幻小说選<sup>17</sup>』である。編集者及び翻訳者のひとりである孟慶枢はこの翻訳集の前書きで、SF作品としての星新一小説を強調した。この小説集では星新一の日本で出版された18冊の小説集から92篇が選ばれ翻訳された。

欧米の伝統的なSF長篇名作（例えばヴェルヌやウェルズの代表作）と比べると、星新一のSFショートショートは、短いものは千字にも足りず、当時の中国にとって斬新なものであった。また80年代に入り、ショートショートというジャンルが正式に登場し、盛んに創作されはじめた<sup>18</sup> 時期にあたったため、中国の読者にとって、星新一小説は、いっそう目新しいものとして目に映ったのである。

## (2) SF作家からショートショート作家へ

中国では、1980年代のSF出版ブームの最中においてもSFの帰属問題が存在していた。すなわち、SFは科学か、文学かという問題である。この問題をめぐっては、1980年から論争が起こった。1979年の『奇異の化石蛋』をめぐる「偽科学の標本」論争<sup>19</sup> から、1984年の魏雅華の小説をめぐる「ロボット三原則」についての論争<sup>20</sup> まで、科学芸芸についての論争が数多く行われた。そこでは「弁論不許<sup>21</sup>」（中国語で「弁論や論争することは許さない」という意味である）という批判が多くなされた<sup>22</sup>。こうした論争の結果、SF作品は「精神汚染品」に認定され、出版業界から排除されることになった。こうして1984年から、SF出版物は姿を消すことになる。中国大陸では、四川省の『科学芸芸』雑誌および上海市の『少年科学』雑誌だけにSFコラムが残された。政府機関の干渉も加わった論争によって中国のSF文学は約十年の停滞期に入ったのである。この衝撃は当然のことながら、星新一のSFショートショートの翻訳と出版にも影響を与えた。その結果、星新一SF小説の翻訳及び出版は停滞することになった。

同時に、80年代初期、中国にはショートショートブームが巻き起こった。1981年、上海の雑誌『小説界』は全国に先駆けてショートショートコラムを設け、これに追随して多くの新聞や雑誌などが全国的にショートショートを掲載し始め、ショートショートブームがおこった<sup>23</sup>。特に、1985年に出版された『小説年鑑』ではショートショートは独立した新たな小説文体とし

17 「科幻小说」はSFの中国語訳「科学幻想小説」の略称である。

18 中国の「微型小说」（ショートショート）は1980年代に正式に定義された。1950年代に「小小説」という形の小説が出現したが、当時は依然として「短編小説」に分類されていた（四川师范学院中文系文艺理论教研组编『文艺名词解释』1973 P295）。「微型小説」という呼称は1980年代になって正式に使用されるようになったものである（呂植家著『微型小说的雕龙艺术』广西人民出版社2009.06 P10）。

19 吴岩著『科幻文学论纲』重庆出版社 2011.04 P37 「时间：1979-1983；内容：甄朔南认为该作品是‘伪科学的标本’，而叶永烈据理力争，要求科幻的权利；主要交锋阵地：中国青年报，文汇报，文学报」。

20 吴岩著『科幻文学论纲』重庆出版社 2011.04 P38 「时间：1982-1984；内容：生平认为小说曲解了阿西莫夫和他的机器人三定律；郭正谊认为其中包含攻击我国的现实社会，引导人们去追求资产阶级民主的内容；王谷岩认为，作品违背机器人科学；叶永烈为其辩护；主要交锋阵地：芒种，科普创作」。

21 吴岩著『科幻文学论纲』重庆出版社 2011.04 P23, P37 「很快，这场纯粹的文学争论跟其他争论一起，被诉诸政治权力的裁决。」

22 吴岩著『科幻文学论纲』重庆出版社 2011.04 P37の不完全な統計による。

23 呂植家著『微型小说的雕龙艺术』广西人民出版社 2009.06 P10；刘海涛著『规律与技法 转型期的微型小说研究』中国社会科学出版社 2002 P8

て定義され、短編小説のジャンルから独立した<sup>24</sup>。このブームによって数多くの外国ショートショートが中国語に翻訳され、中国で紹介された。当時、星新一はちょうど1983年の秋、1001編のショートショートを書き上げたところで、日本における代表的なショートショート作家として知られていた<sup>25</sup>。彼の作品が1980年代の中国ショートショート界にとって、優れた翻訳対象になったのも当然のことであろう。

こうした背景の下、星新一作品はSFのジャンルではなく、ショートショートとして中国語に翻訳され、ショートショートの作品集、星新一小説集としてまとめられ、中国で出版された。こうして、星新一小説についてのキーワードの変更が行われたのである。1983年の『一分鐘小説選』から、1991年の『強盜的苦惱』までの星新一小説集に収録された作品について、「SF」というキーワードでの紹介は行われなくなり、「ショートショート」としての側面だけが強調されるようになった。収録された作品の中にSF小説があったとしてもショートショートとして分類されたのである。出版社も科学技術系の出版社から文芸系の出版社に変わった。雑誌においても1982年から1998年まで、星新一の小説については「SF」というキーワードは使用されず、「ショートショート」というジャンルに区分された。1998年1月の『大衆科技』に星新一のSFショートショート「ある商品」（「可怕的商品」）が掲載されたことで、星新一小説は、再度「SF」というジャンルに区分されるようになった。その他の出版物の状況も同様であり、1983年から星新一小説を「SF」と規定する表現は使われなくなったが、1992年の『20世紀世界児童文学名著精粹 科幻小说卷』<sup>26</sup>に収録された星新一の小説「照料入微的生活」（原作名は「ゆきとどいた生活」）になって再度「SF」というキーワードが復活した。

### (3) SF作家から推理作家へ

上述のように、キーワードの変更の他、科学幻想文学論争を避けるため、翻訳作品の題材の選択にも変化が生じた。特に1986年、百花文艺出版社から出版された星新一小説集『職業刺客』では、星新一は「推理作家」として紹介され、「警察、泥棒、強盗および詐欺犯に関する作品を収録した」<sup>27</sup>と説明がなされている。1983年から1991年までに出版された中国語訳星新一小説集を比較したところ、『一段浪漫史』、『不速之客』の二点に推理的要素の強い作品が収録されている。

1950年代以降、中国においては推理小説に対して批判的な状況が生じた。このため、中国国内における推理小説の出版量は非常に少なくなった。読者の求めに応じて、外国の推理小説、とくに日本の推理小説が1980年から1990年までの10年間に数多く翻訳された<sup>28</sup>。しかし、推理

24 许世杰编著『1984年中国小说年鉴・微型小说卷』中国新闻出版社 1985 P3「然而、『1984年小说年鉴』中，居然把它列为独立的文学体裁，与中，短篇小说势成鼎足，自成一卷，这足以表明，近几年异军突起的微型小说已愈趋成熟，得到了文学界的重视和公众的承认，赢得了自己的文学地位。」

25 马兴国编『日本微型小说选 理想夫人』江西人民出版社 1988 P3「评论家权田万治说『在日本，凡提及微型小说，人们便首先联想到星新一，仿佛他享有专利权。』」

26 关福瑩，刘文刚主编『20世纪世界儿童文学名著精粹 科幻小说卷』湖南少年儿童出版社 1992.03には星新一の『ゆきとどいた生活』（中国語訳『照料入微的生活』）が収録されている。

27 星新一著；申英民，孔宪科，卞崇道译『职业刺客』百花文艺出版社 1986.07

28 王向远著『东方各国文学在中国 译介与研究史述论』江西教育出版社 2001 P257：「推理小说的訳本占日本文学翻译总量的八分之一。在80-90年代的日本文学翻译中，推理小说在数量上约占四分之一。其特点是翻译面很广，各个不同时期的代表作家及重要作品，大都有了译本。」

小説の出版による利益は他の出版物に比べ高く、翻訳数も多かったために、一部の出版社は、暴力的、性的な作品を翻訳しがちであった<sup>29</sup>。一方、星新一作品のわかりやすく、面白く、活き活きとした特徴は中国の編集者や訳者に高く評価され、かつ「現代社会の風貌を反映できる」作品と評された。したがって、この時期の翻訳者の多くは星新一の推理ショートショートを翻訳した。

また、王向遠の『東方各国文学在中国 訳介与研究史述論』の「児童文学、民間文学の翻訳と紹介」においては星新一の作品を「青少年と学生に健康かつ有益な読み物だ」<sup>30</sup>と評価している。星新一から李有寛へ宛てた手紙において、星新一は、中国の出版社は妖精と悪魔を描く作品の掲載を望まないようだとしている<sup>31</sup>。こうした原因によって中国における翻訳者は星新一の作品を翻訳する際にその選択範囲が狭まることになった。

中国大陸で翻訳された星新一作品は、1980年代初期に一部のSF作品が訳された後、1980年代と90年代に多くの推理ショートショート、及び童話風のショートショート<sup>32</sup>（数量が極めて少ないが）が翻訳された。

#### (4) 引退した作家と中国の変化

星新一は1983年の秋に1001編目のショートショートを書き上げ、目標を達成し、休筆を宣言した<sup>33</sup>。星新一公式サイト<sup>34</sup>の初出作品リストによると、1983年以降、星新一の作品は急減し、休筆状態となった。1984年から星新一がなくなる1997年までの具体的な作品は以下の表の通りである。

表2 1984年～1997年星新一の作品初出資料

時間	作品名	初出雑誌
1984年	『足の裏』	『野性時代』1984年8月号
1985年	なし	
1986年	『創世の物語8種』	『小説新潮』1986年8月号
1987年	なし	
1988年	『ささやかれた物語』	『小説新潮』1988年6月号
	『もしかしての物語』	『オール読物』1988年4月号

29 王向遠著『東方各国文学在中国 訳介与研究史述論』江西教育出版社2001 P259:「対日本推理小説の翻訳出版、大部分选题基本上是健康无害的, 译文也是通顺可读的。但由于推理小説の利潤高, 翻译的数量大, 不免泥沙俱下。有些译者和出版商翻译出版了具有渲染色情, 暴力的作品, 而且译文粗制滥造, 错误较多, 译本无序无跋, 品位低下。」

30 王向遠著『東方各国文学在中国 訳介与研究史述論』江西教育出版社2001 P262:「星新一の作品不仅是少年学生的健康有益的读物, 也为成年读者所爱读。」

31 星新一著; 李有寛译『不速之客』湖南人民出版社1985 P6「星新一还有不少专门描写精灵鬼怪的作品, 他在给笔者的信中说『据说贵国的杂志似乎不愿译载描写魔鬼和妖精的作品, 这实在是件遗憾的事情。』」

32 例えば『鸽子的阴谋』(「陰謀」)と『失去了最后一头大象的夜晚』(「友を失った夜」)のようなショートショートである。

33 最相葉月著『星新一 一〇〇一話をつくった人』新潮社2007.05 P9

34 高井信編; 山本孝一, 和田信裕協力『初出リスト』www.hoshishinichi.com/list/26.html

1989年	『夢20夜』	『小説新潮』1989年7月号
1990年	『お寺の昔話』	『小説新潮』1990年1月号
1991年～1997年	なし	

表2によれば、1984年に休筆宣言して以降、星新一の執筆量は極めて少なかった。且つ、作品の内容も神話、民話、昔話に限られたものであった。したがって、1990年代以降、中国の翻訳者は中国の星新一読者に、読み慣れた題材の新作を提供することはほとんど不可能であった。一方、1990年代以降、中国におけるショートショートがいつそう盛んになり、ショートショートを掲載する出版物が増加し、作者も増え、読者も増えた。その結果、年間、ほぼ三万篇のショートショートが雑誌などに掲載されるようになった。また、ショートショートについての専門的な理論研究も出てきた<sup>35</sup>。こうして、ショートショートが発展し始めた1980年代と比べると、1990年代以降はそれほど外国からの新しいショートショートの翻訳を求めることはなくなったと言っても良い。

1984年のSF論争以降の中国SFの発展状況も星新一小説の受容に深く関係している。筆者は全国図書館参考諮詢連盟<sup>36</sup>のデータに基づき整理を加え、以下の結果を得た。

表3 1985年～2014年 中国SFに関する出版物の状況

	図書(冊)	雑誌(件)	新聞(件)	学位論文(本)	会議論文(本)
1985年～1989年	86	88	5	1	不明
1990年代	644	397	6	5	2
2000年～2010年	1212	2670	155	248	14
2010年以降	433	2049	375	137	10
年代不明	88	12	なし	30	なし

中国のSF文学は1990年代から再び発展し始め、2000年代に入ると、爆発的に様々な出版物の出版量が増加した。また、新世代のSF作家も育っていった。

このように中国におけるショートショート及びSF文学の発展によって、星新一の小説も1980年代のように目新しいものではなくなったといえる。また、星新一の作品の多くが次第に中国の義務教育の教材に採用されるようになってきたが、教材としての星新一の作品は過去のよく知られた作品に偏重し、代表的な翻訳のみが採用された。したがって、改めて新しい作品が翻訳されるようなことはなかった。

以上の原因によって、星新一小説の翻訳時期の集中及び作品ジャンル区分の、時代の状況を受けた突然の変化という特徴が形成されたのである。日本の読者にとって「星新一はSF作家

35 呂植家著『微型小说的雕龙艺术』广西人民出版社 2009.06 P11~P12

36 中国語の正式名称は「全国图书馆参考諮詢聯盟」。「是在全国文化信息资源共享工程国家中心指导下，由我国公共、教育、科技系统图书馆合作建立的公益性服务机构，拥有我国目前最大规模的中文数字化资源库群：电子图书120万种，期刊论文4000多万篇，博硕士论文300万篇，会议论文30万篇，外文期刊论文500万篇，国家标准和行业标7万件，专利说明书86万件，以及全国公共图书馆建立的规模庞大的地方文献数据库和特色资源库。」（全国図書館参考諮詢連盟章程サービスガイド：<http://www.ucdrs.net/admin/union/service.jsp>）

だ」という印象とは異なり、「星新一はショートショート作家だ」という中国独自の受容面における特徴が作りあげられたのである。

#### 4. 中国における星新一小説受容対象の特徴

日本における星新一作品を掲載した出版物を調べてみると、少年向けの読み物や教材として採用されたケースもあるが、主な出版物は大衆向けの読み物である。しかし、中国における星新一作品の掲載出版物及び作品を受容する読者は、日本と異なり、より低年齢化の傾向がある。

##### 4.1 教育界からの高い評価

星新一公式サイト『初出リスト』<sup>37</sup>に基づき整理を加えると、1957年6月号の『宇宙塵』に「セキストラ」が発表されてから1990年1月号『小説新潮』に「お寺の昔話」が発表されるまで、総計1213篇の作品<sup>38</sup>が218種の出版物（転載を除いた）に掲載された。リストの中で明らかに学生や子どもに関係する少年向けの出版物は19種あり、36篇の作品が掲載された。また、1980年に出版された『星新一の世界』に収録された星新一の『単行本リスト』<sup>39</sup>によれば、教科書、副読本への掲載作品は11篇あり、12冊の本に収録されている。星新一公式サイト『教科書リスト』<sup>40</sup>によれば、8篇の作品が15冊の本<sup>41</sup>に収録されている。

中国の場合、よく知られている例としては、星新一の「おーい、でてこーい」と「アフターサービス」がそれぞれ人民教育出版社の『義務教育課程標準実験教科書語文八年級下冊』と北京師範大学出版社の『義務教育課程標準実験教科書語文八年級下冊』に採用されたことが挙げられる。しかし、筆者の調査によれば、中国大陸では1980年代はじめから星新一の小説が教育用図書に収録され始め、特に2000年以降になって、多くの義務教育向けの雑誌や図書に収録されるようになった。読秀から収集したデータによって、以下の結果を得た<sup>42</sup>。

図書の場合、教学用の教科書（課本）は11冊あり、9篇のショートショートが収録されている。明確に「課外読み物」と表示されている学生用の副読本は22冊で17篇のショートショートが採用されている。また、他の教育用補助教材、教学参考図書が53冊あり、33篇のショートショートが収録されている。学生向けの叢書に属する図書は5冊あり、11篇のショートショートが収録されている<sup>43</sup>。このほか、創作方法に関する創作理論書籍10冊に9篇の星新一作品が収録され、あるいは例文として用いられている。

37 高井信編：山本孝一、和田信裕協力：2013年9月9日まで更新した：www.hoshishinichi.com/list/26.html

38 中の1968年1月1日号の『週刊少年マガジン』に掲載された「未来びっくり旅行 オリンピック2001」は無署名なので、星作品ではない可能性がある。

39 和田信裕編「単行本リスト」、『星新一の世界』新評社 1980 P210~P211

40 『教科書リスト』（星新一公式サイト）：www.hoshishinichi.com/list/40.html

41 「おーい、でてこーい」以外、『星新一の世界』の「単行本リスト」の資料と重複する作品はなかった。

42 星新一の日本語原作が中国の日本語教科書に採用され、テキストとして使われたことがあるが、ここでは中国語訳が中国語の教材として使われた場合だけを論ずる。

43 青少年や児童向けの図書を含まず、「学生向け」とだけ表示されている叢書を指す。

星新一のショートショートを掲載する雑誌には主に学生向けと教師向けと二種のものが存在している。具体的に言えば、111種の学生向け雑誌に241篇の星新一作品<sup>44</sup>が掲載され、星新一作品についての論文14篇が掲載された。教師向けの14種の雑誌には、星新一作品に関する教案、分析、解説、研究論文など32篇が掲載された。

以上のデータから、中日両国における星新一作品の教育用図書における状況を比較すると、教科書採用の点では、中国が日本より多い。なお、日本における雑誌掲載状況は初出データしかないなので、中国の雑誌掲載状況と具体的には比較できない。しかし、中国の雑誌に掲載された作品中の重複する部分を除き、掲載雑誌の重複も除くと、47種の教育に関する雑誌が96篇ショートショートを掲載したという結果を得た。この数字も日本での状況をはるかに超えている。

また、人民教育出版社の中学校用国語教科書『語文』<sup>45</sup> 6冊について見ると、星新一以外の日本作家の作品は採用されていない。ただ星新一の「おーい、でてこーい」<sup>46</sup>だけが八年級下冊の第三単元に収録され、教材として使われている。この点から、星新一は日本人作家の中でただひとり中国の中学校教科書から高い評価を得ている作家であると考えられる。

#### 4.2 学生以外の若い読者

星新一の作品は児童文学と分類されることがある。また、図書、雑誌において、児童文学と分類される出版物に星新一の作品が掲載されることがある。例えば1985年の『世界児童 第14輯』、1992年の『20世紀世界児童文学名著精粹 科幻小説巻』、2006年の『外国新童話』、2011年の『世界経典児童文学精選 科幻小説精選』など26種の図書に38篇の星新一ショートショートが収録され、『科普童話』と『中外童話画刊』二種の雑誌に16篇のショートショートが掲載された。ほかに、青年向けの雑誌にも星新一の作品は49篇が掲載されている。

王向遠著の『東方各国文学在中国 訳介与研究史述論』では、特に星新一及び彼の作品の紹介を「児童文学、民間文学の訳介」の中で行い、「青少年や学生のいい読み物でありながら、大人の読者も彼の作品を愛読している」<sup>47</sup>と評価する。したがって、星新一の作品は「少年向けの読み物」と見なされているのである。

図IVから分かるように、一時、減少することはあったが、星新一に関する出版物の中で、青少年向け出版物の比率は徐々に上昇してきている。

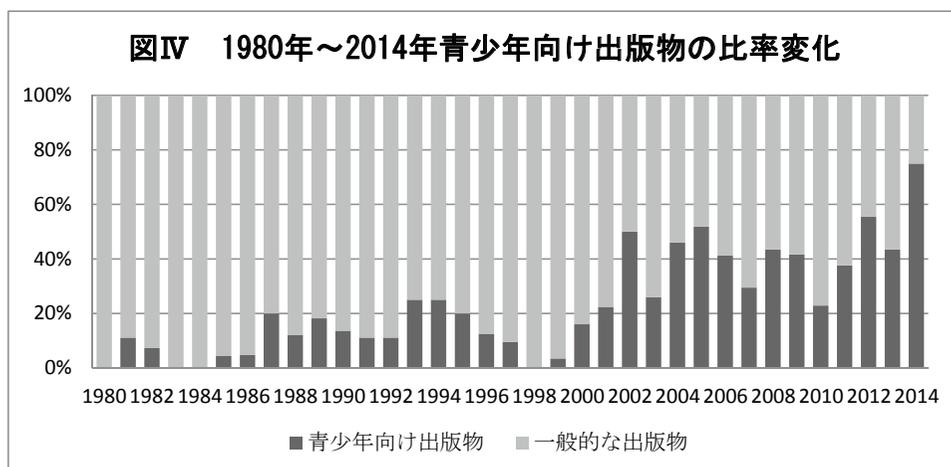
では、このように教育界に好まれる傾向、あるいは青少年向けと見なされる傾向の原因はどこにあるのか。以下、いくつかの面から分析を加える。

44 雑誌に掲載された作品数の計算は、重複掲載の数も含んでいる。

45 人民教育出版社の『語文』は現在の中国で一番広く使われ、最もよく知られている国語教科書である。

46 李有寛訳：「喂——出来」、『不速之客』湖南人民出版社 1985

47 王向遠著『東方各国文学在中国 译介与研究史述论』江西教育出版社 2001 P262「星新一的作品不仅是少年学生的健康有益的读物，也为成年读者所爱读。」



### 4.3 原因についての分析

#### (1) SF の児童向け伝統

人民教育出版社版『語文』<sup>48</sup>教科書に採用された「おーい、でてこーい」はSF<sup>49</sup>として、「自然と科学」という単元に入れられている。しかし、1949年の建国以来、中国においてSFは長い間、「児童向けの文学」と見なされていた。

1955年、「SF小説」という新たな文学ジャンルが正式に中国の出版者に認識された。しかしながら、その時のSF小説は「科学普及」及び「児童読み物」の一部として認識されたのである<sup>50</sup>。更に、初期の中国SF作家は極めて少なく、多くは科学普及読み物作家と児童文学作家であった。創作された作品も主に児童を主人公にした児童向け小説であり、少年児童出版社によって刊行された。また、作家だけでなく、後のSF文学の研究者たちも多くは中国建国初期のSF文学を「児童化」及び「科学普及化」された作品と定義している<sup>51</sup>。

この児童向けの伝統は長く続き、中国のSF文学に大きな影響を与えた。現在でも中国で一番発行量の多いSF作品は葉永烈の『小靈通漫游未来』(300万冊)であり、これは中国児童文学創作最高賞「全国少年儿童文芸創作一等賞」を受賞している。1980年、SF作家鄭文光も『答香港<開卷>記者呂辰先生問』<sup>52</sup>というインタビューにおいて、24年間で児童文学会議だけに

48 前文の人民教育出版社から出版された『語文』を指す。北京師範大学出版社から出版された『語文』とは異なる。

49 人民教育出版社版『語文 八年級下冊』P112では「おーい、でてこーい」はSF小説と解説されている。「这篇科幻小说充满了神奇的想象」。

50 张治、冯臻著『现代性与中国科幻文学』福建少年儿童出版社 2006 P78 :「1955年，《人民日报》发表了《大量创作，出版，发行少年儿童读物》的社论，同时，党中央发出：‘向科学进军’的号召，于是，一些从事出版少儿读物，科普读物的编辑们，将科幻小说这一新的文学样式，纳入他们的视野，积极倡导科幻创作。针对当时科幻作者奇缺的状况，一些编辑纷纷亲自披挂上阵，展开科幻创作。如于止，赵世洲，王国忠等。此外，他们还将一些科普作者和儿童文学作者，拉入科幻小说的创作阵营，并由此初步形成了科幻小说的创作队伍。」

51 张治·冯臻著『现代性与中国科幻文学』福建少年儿童出版社 2006 P80 :「之后的研究者，便一直追随肖氏的论断，进一步将建国初科幻创作简单地概括为‘少儿化’与‘科普化’。」

52 香港『开卷』杂志1980年5月发表特约记者吕辰的长篇访问记：『访中国科幻作家郑文光』。选自郑文光答香港『开卷』月刊记者吕辰先生问（代序）。『郑文光科学幻想小说选』天际科学技术出版社 1981.3 P1~P10

招かれ、それ以外の小説会議に招かれたことは一度もなかったと語っている<sup>53</sup>。同時に、中国では「SF文学イコール児童文学」という考え方が当たり前のものであることも鄭文光は述べている。

こうした「当たり前」という伝統的な考え方によって、2003年になってもなおSF文学と児童文学との関係についての論争が続いていたのである<sup>55</sup>。SF文学は児童文学の枠から出ることはなかなか難しく、そのため、かなりの数のSF作品を含む星新一のショートショートも中国では児童や青少年向けの読み物として認識されたのである。

## (2) 教科書によって学生に普及

中国においては、SF文学が児童向けと見なされていたという伝統の他、星新一小説が教科書によって普及したという要素も無視できない。筆者が2011年から2012年までに行ったアンケート調査によれば、調査を受けた中高生の中で星新一を知っている人は、星新一の作品を教科書のテキストとして勉強したことがあるというものが勉強したことがないものより遥かに多かった<sup>56</sup>。

表4 中学生及び大学生における星新一の知名度

		人数	割合
中学生	テキスト	勉強した	230 19%
		勉強しない	29 2%
	小計	319 26%	
大学生		277 23%	
合計		596 49%	

表4に示されているように、教科書は星新一及び彼の作品が伝播するに際して非常に大きな力を持った。上述のように、学生向け、教師向けに多くの星新一作品を掲載した雑誌も教科書の影響を受けている。したがって、教科書に採用された原因についての分析も必要となる。

53 吳岩著『科幻文学论綱』重慶出版社 2011.04 P39:「他从1956年开始就是中国作家协会的会员, 至今已经24年。但他只被儿童文学的会议邀请, 中短篇小说的会议, 各种题材小说的会议从来没邀请过他。」

54 林久之, 武田雅哉著『中国科学幻想文学館(下)』大修館書店 2001 P83「わが国では‘科学文芸’の意味が拡大解釈され, 科学小品, 科学童話から科幻小説, 科学漫才まで含まれることになってしまいました。そこで人によっては‘科学文芸’の定義を, 文芸の形式をもって科学知識を普及させる読み物であるとしたり, 児童文学の一種であるとしたりすることになったのです。これはもうかなり昔のことなのですが, みんなもう当たり前のことだと思っています」

55 吳岩著『科幻文学论綱』重慶出版社 2011.04 P29:「2003年葛紅兵与王泉根的争论, 引导大家重新反思科幻文学在儿童文学(或儿童文学在科幻文学)中的合法地位。」(葛紅兵:「不要把科幻文学的苗只种在儿童文学的土里」中华读书报 2003.8.6; 王泉根:『论科幻文学的学科根基』收录于『王泉根论儿童文学』接力出版社 2008 P124-P128)

56 アンケート調査の実施期間は2011年12月から2012年12月までの一年間で, 調査対象は山東省の中高生及び大学生であり, 調査票を調査対象に配布し回答後ただちに回収した。調査学校は山東師範大学, 山東体育大学, 山東建築大学, 済南大学, 曲阜師範大学, 山東經濟幹部管理学院, 山東医学高等専科学校, 山東職業学院, 山東理工職業学院, 棗庄第三中学, 棗庄第十六中学, 棗庄第十五中学, 済寧唐口鎮中心中学, 計13校で, 有効回答票数は1220枚であり, 星新一を知っていると回答したものは596枚あり, 全体の49%を占めている。

## ①作品の長さ

周知のように、星新一小説の多くは極めて短いショートショートである。例えば「オアシス」<sup>57</sup>と「さまよう犬」<sup>58</sup>二篇の作品があるが、ともに二ページにも足りない長さである<sup>59</sup>。短い文章で完備した筋をもつ星新一の作品はすぐれた短編を複数掲載する必要のある教科書に適している。

1978年以降、中国の中学校国語教科書に採用されたテキストの研究によれば、いくつかの変化が認められると言われている。すなわち、採用されるテキストの長さが短くなり、抜粋された形式のテキストの量が減少してきたことである<sup>60</sup>。短篇は文章の長さが短く、内容と骨組みの把握が容易で、深く精読するのに適している<sup>61</sup>。抜粋ではないテキストは抜粋されたテキストよりも内容の把握が容易で完璧に作者の考えを捉え、文章を理解できる。同時に、完結した、短い文章は創作練習にとって適切な模範となる<sup>62</sup>。したがって、現在の国語教科書にとって短篇で完結した内容の文章がテキストの主な形式となるのである。星新一のショートショートはこの二点に合致している。

## ②読みやすい表現と理解しやすい内容

星新一小説の簡潔で理解しやすい文字表現もテキストとして採用される原因のひとつと考えられる。星新一の日本語原作には、ひとつの著しい特徴がある。すなわち、当用漢字（1981年以降は常用漢字）以外の難しい文字が使われていないこと、言語表現も極めて読みやすく、理解しやすいことである。星新一は常に小説言語の洗練を厳しく求め、努力して簡潔な文章で表現し、話にしたと言われ、「とにかく平明簡潔である。修飾語が大変に少ない」<sup>63</sup> ショートショートを書いたと評されている。星新一自身もこの点について述べている<sup>64</sup>。

その他、星新一は、文字や表現だけでなく、内容的にもできるかぎり理解しやすく書き、「なるべく術語を避け、わかりやすくということに努めた」<sup>65</sup>。特にSF小説を書く際、数字や科学記号などの術語を並べて書くことは避け、一般読者にも容易に読める小説を創作した。した

57 星新一著『ボンボンと悪夢』（新潮社 1962.7）に収録された。中国語訳は「绿洲」（『星新一微型小说选世界语』北京航空学院出版社 1986.09）で、陳劍形が松葉菊延のエスペラント訳から中国語に翻訳したものである。

58 星新一著『妄想銀行』（新潮社 1967.6）に収録されている。中国語訳は「徘徊的狗」（『星新一微型小说选世界语』北京航空学院出版社 1986.09）で、陳劍形が松葉菊延のエスペラント訳から中国語に翻訳したものである。もう一つの訳は蘇詢江訳の「到处徘徊的狗」であり、『日语知识』（1995年第12期）に掲載された。

59 中国語訳も同様で、わずか二ページ程度である。

60 王红『课文选取标准的初步探讨——新时期初中语文教材述评』首都师范大学教育硕士专业学位 2001 P14-P16

61 王红『课文选取标准的初步探讨——新时期初中语文教材述评』首都师范大学教育硕士专业学位 2001 P15「由于短课文的篇幅短小，学生阅读时便于把握内容和结构，利于精读熟思深入理解。还有利于增长学生精读文章的知识，培养精读文章的能力。从写作训练方面考虑，短文章有利于学生学习和模仿，有利于读写结合，提高写作能力。」

62 王红『课文选取标准的初步探讨——新时期初中语文教材述评』首都师范大学教育硕士专业学位 2001 P16「这无非是因为全文能使学生看到文章的全貌，易于把握作品的总体构思和作者的写作意图及艺术风格。从写作训练角度看，完整的文章也便于学习和借鉴。」

63 大西赤人著「開拓者星氏の惹き起こした副作用」『星新一の世界』新評社 1980 P143

64 马兴国著『星新一访问记』『一分钟小说选』春风文艺出版社 1983 P4「通常写完初稿，搁置一天后再抄清，抄清时删繁就简，尽量将原稿改得通俗易懂，去掉由于苦思冥想而留下的晦涩成分。」

65 星新一と武蔵野次郎の対談「ドアを開けると、そこには！」、『星新一の世界』新評社 1980 P37

がって、原作に基づいて翻訳された中国語訳もこの特徴を維持しており、星新一のショートショートは読者にとって極めて読みやすい読み物になり、年齢層の差異によって生ずる受容の障壁もなくなった。

### ③時代性及び固有の国家性の希薄さ

星新一の小説は「テーマの上で時勢の変化に極度に敏感になることは意識して避けている」<sup>66</sup>と評されたことがある。これも星新一ショートショートの特徴のひとつと言われる。すなわち、小説を書く時、小説中の環境描写の点で「車」、「人」、「装置」などの曖昧で且つ包括的な名称を使う。こうすることにより、星新一の小説は時代性が希薄になり、何時の時代の読者たちにとっても同じ「車」、「人」、「装置」でしかなくなる。しかも、環境描写だけでなく、登場人物を描くときも同様である。星新一はいつも登場人物の具体的な人間像を描かなかった。どんな小説でも「ある人」や「ある男」などと書いた。登場人物の名前も「人物の性格や年齢が規定されかねない」<sup>67</sup>日本人の名を使わず、単なる「エヌ氏」とか「エル氏」を使った。作者はできるかぎり時事ニュース的なものから離れ、何千年前も何千年後も大差なく、決して古びない人間性の矛盾のあらわれ<sup>68</sup>に専念した。このような記号化した書き方は時代とともに古びる要素を排除し、時代性を弱めるとともに、作品の固有の国家性をも弱めることになった。

こうして、時代遅れになりにくく、異国の読者にも受容しやすい作品は、異国の教科書に採用されやすくなるのである。且つ中国では中学校の教科書のテキストを選択する際、原則として、「中学生の認知能力、心身発展に応じ、中学生の学習意欲と創新精神を促進できる」<sup>69</sup>ことを前提とし、「現代性を体現し、人類と自然に関心を寄せ、多文化を尊重する」<sup>70</sup>テキストを採用する。こうして、星新一の小説は中国において、未成年の学生にふさわしい読み物になり、更に中学校教科書のテキストになったのである。

### (3) 内容の安全性

星新一は自ら三つの創作条件を課した。その一、性行為と殺人シーンの描写をしない。その二、時事風俗を扱わない。その三、前衛的な手法を使わない<sup>71</sup>。この三つの条件によって星新一の作品は未成年の読者に対し、配慮した内容となった。したがって、上述のように、星新一の作品は「児童文学」と見なされ、評価され、中国の児童文学作家や出版者たちにとって「安全」な作品と見なされるようになった。これも星新一作品の読者層の低年齢化傾向を一層促進した原因であると考えられる。

66 吉田夏彦著「SFの季節——星新一の登場」、『星新一の世界』新評社 1980 P86

67 権田萬治著「恐怖の原形質——星新一論」新評社『星新一の世界』1980 P78

68 星新一著『ようこそ地球さん』新潮文庫 1987.8 P371の原文は「だが、人間性の矛盾のあらわれとして見ると、決して古びない。何千年前も何千年後も大差ないものである」

69 中華人民共和国教育部編『全日制义务教育语文课程标准（实验稿）』人民教育出版社 2001「教材应符合学生的身心发展特点，适应学生的认知水平，密切联系学生的经验世界和想像世界，有助于激发学生的学习兴趣和创新精神。」

70 中華人民共和国教育部編『全日制义务教育语文课程标准（实验稿）』人民教育出版社 2001「教材应体现时代特点和现代意识，关注人类，关注自然，理解和尊重多样文化，有助于学生树立正确的世界观，人生观，价值观。」

71 星新一著「創作の経路」『星新一の作品集 第8巻』新潮社 1975 P185

以上述べたいいくつかの歴史面での、出版面での及び教育面での原因によって、中国大陸における星新一作品の受容層には顕著な特徴が生じた。すなわち、読者層の低年齢化という傾向が明らかにもたらされたのである。

## 5. おわりに

中国大陸においては20世紀80年代に星新一の小説が初めて翻訳紹介されて以降、30年の間に、星新一小説の中国語訳及びその受容状況には中国社会固有の特徴が生ずるに至った。それは、翻訳時期の集中、作品ジャンル区分の変化、および受容対象の低年齢化の三つの面に顕著に表れている。

### 参考文献

- 四川師範学院中文系文芸理論教育研究組編1973『文艺名词解释』。  
星新一1975『星新一の作品集 第8巻』新潮社。  
新評社1980『星新一の世界』新評社。  
郑文光1981『郑文光科学幻想小说选』天際科学技術出版社。  
孟庆枢、潘立本編1982『保您满意』江蘇科学技術出版社。  
星新一著；陈真等訳1983『一分钟小说选』春風文芸出版社。  
孔凡青、许世杰編1985『中国小说年鉴 微型小说卷 1984』中国新聞出版社。  
星新一著；李有宽訳1985『不速之客』湖南人民出版社。  
陈剑彤訳1986『星新一微型小说选世界语』北京航空学院出版社。  
星新一著；申英民、孔宪科、卞崇道訳1986『职业刺客』百花文芸出版社。  
星新一1987『ようこそ地球さん』新潮文庫。  
马兴国1988『日本微型小说选 理想夫人』江西人民出版社。  
关福堃、刘文刚編1992『20世纪世界儿童文学名著精粹 科幻小说卷』湖南少年儿童出版社。  
林久之、武田雅哉2001『中国科学幻想文学館（下）』大修館書店。  
王向远2001『东方各国文学在中国 译介与研究史述论』江西教育出版社。  
王红2001『课文选取标准的初步探讨——新时期初中语文教材述评』首都師範大学。  
中華人民共和国教育部編2001『全日制义务教育语文课程标准（实验稿）』人民教育出版社。  
张治、冯臻2006『现代性与中国科幻文学』福建少年儿童出版社。  
最相葉月2007『星新一 一〇〇一話をつくった人』新潮社。  
吕植家2009『微型小说的雕龙艺术』広西人民出版社。  
吴岩2011『科幻文学论纲』重慶出版社。  
高井信編；山本孝一、和田信裕協力『初出リスト』 [www.hoshishinichi.com/list/26.html](http://www.hoshishinichi.com/list/26.html)  
星新一公式サイト [www.hoshishinichi.com.html](http://www.hoshishinichi.com.html)  
中国全国図書館参考諮詢連盟章程サービスガイド：<http://www.ucdrs.net/admin/union/service.jsp>

中国における星新一小説の受容

原稿受領日：平成26年10月1日；Received 1 October 2014

掲載受理日：平成26年11月17日；Accepted 17 November 2014